

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第9回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ・協議事項

（1）自主的審議事項について（公開）

・小学校の在り方について

（2）その他（公開）

## 3 開催日時

平成29年12月14日（木） 午後6時00分～午後7時10分

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）の氏名（敬称略）

・委 員：平井達夫（会長）、新井清三（副会長）、小林良一（副会長）、福崎幸一、古海誠一、北折佳司、長藤豊、西田節夫、島田信繁、上野きみえ、古川政繁、増村眞一、島田正美

・事務局：板倉区総合事務所 五十嵐所長、山崎次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、小山市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、宮尾産業グループ長、竹田建設グループ長、村山地域振興班長、岩崎主事（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【山崎次長】

・地域協議会の開会を宣言

**【平井達夫会長】**

・挨拶

**【五十嵐所長】**

・挨拶

**【平井達夫会長】**

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

(1) 自主的審議事項についてとする。事務局からの説明を求める。

**【嘉島G長】**

(当日配布資料1・2により説明)

**【平井達夫会長】**

ただ今の事務局の説明のとおり、1月中に各校区から意見の提出を受けた後、地域協議会や勉強会を開催し意見書の案を作成することとなる。2月上旬の地域協議会終了後に勉強会を開催して意見書案の作成について協議してはどうかと考えている。また、各校区からの報告が遅れた場合は、協議会とは別の日程で勉強会を開催する。

意見書の内容は、地域の意見を反映させ、地域の了解を得たものでなくてはならないため、3月中旬までに何らかの形で地域に報告する必要がある。その一つとして、地域活動支援事業報告会と合わせて、地域に意見書の案を報告する方法もある。その後、3月下旬に正式な意見書として教育委員会に提出することとしてはどうかと考えている。

今後の予定について意見等がある委員は挙手を求める。

**【西田節夫委員】**

可能であれば、一度、4校区の連絡協議会長が集まり、各校区の意見について議論した方がよいと思う。今まで4校区で議論したことはない。

**【平井達夫会長】**

その他意見等がある委員は挙手を求める。

**【古海一夫委員】**

私も西田委員の意見に賛成である。

今まで4校区の意見のすり合わせの場を全く設けていないので、疑心暗鬼になって

いる部分もあると思う。各校区の意見がまとまったところで、連絡協議会長で集まってもらった方が、過去の経緯が分かりやすいと思う。

【平井達夫会長】

ただ今、西田委員と古海委員から同様の意見が上がったが、連絡協議会の会長と会合を開催することとしてよいか。

【北折佳司委員】

連絡協議会の会長と地域協議会委員とで話合いをするということか。

【平井達夫会長】

連絡協議会長同士で話し合うということである。

【長藤豊委員】

連絡協議会長の会合等はこれから予定されているのか。予定されているならば、その場で話会えばよい。

【平井達夫会長】

事務局、連絡協議会の会長同士の会合は予定されているか。

【嘉鳥G長】

連絡協議会の関係はまちづくり振興会が担当しており、事務局では把握していない。

また、市が事務局をしている町内会長連絡協議会の会合も予定していない。

【平井達夫会長】

町内会長会議はもう終わっているのか。

【嘉鳥G長】

11月に終わっている。

【平井達夫会長】

この1、2か月に会合等はないということである。

6地区の連絡協議会長での意見交換会を開催することとしてよいか。

(「はい」の声あり)

それでは、連絡協議会長の意見交換会を開催することとする。

次回の地域協議会は2月6日を予定しているが、その前の開催でなくてはならない。

開催時期は1月の中旬頃としてはどうか。

【五十嵐所長】

西田委員、古海委員から連絡協議会の会長同士で議論すると提案があったが、4校区から提出していただいた意見の趣旨を確認するという意味合いなのか、2月上旬の地域協議会で作成する意見書の叩き台を連絡協議会会長に示すのか、何について議論するのか再度確認していただきたい。

**【古海誠一委員】**

どのような考えで各校区から意見が出てきているのか、すり合わせし、お互いが納得してもらうという趣旨である。

**【西田節夫委員】**

豊原校区では、統合は7年後に児童数が100人を割ってから考えればよいという意見が出ていた。将来的に板倉区の小学校を一つにまとめるということであれば、今回の統合について豊原校区の皆さんに十分理解してもらいたい。文書だけでは分からない部分もある。理解を得ておかないと、後に、あのときこういう話があったが今は違うという話が必ず出てくる。

豊原校区の若い保護者から、やはり板倉区で1校がよいという意見を聞いた。

町内会長だけで話をしても高齢者の意見が多く、若い世代からの意見も必要である。

**【平井達夫会長】**

会合は、6地区4校区の生の意見を確認する場ということでよいか。

(「はい」の声あり)

それでは、その会合は勉強会の前に開催しなければならない。2月6日に地域協議会と勉強会を予定していたが、その前に実施したい。

事務局はどの位の時間で意見をまとめられるか。

**【嘉鳥G長】**

提出された意見をそのままの形で資料にするのであれば、時間はかからない。

**【平井達夫会長】**

表のような形でまとめるのか。

**【嘉鳥G長】**

提出されたものそのままを資料として配布する。

**【平井達夫会長】**

各校区からの提出が完了する日は確定しているのか。

【嘉鳥G長】

1月末を締切としている。

【平井達夫会長】

では、2月2日金曜日の開催としてはどうか。

事務局に連絡協議会長との日程調整を求める。

【嘉鳥G長】

事務局で日程調整することとする。可能であれば、第10回の地域協議会と勉強会、連絡協議会の会合の3つの会議を同日に開催したい。

【平井達夫会長】

2月の上旬の開催として検討を求める。また、2月6日の第10回地域協議会と勉強会の日程についても合わせて検討願う。

地域協議会側は連絡協議会長の会合にどのように対応するか。

【西田節夫委員】

3役の出席でよいのではないか。

【平井達夫会長】

連絡協議会の会長との話合いについては、地域協議会からは3役が出席することとしてよいか。

(「はい」の声あり)

(1) 自主的審議事項については以上とする。次に、(2) その他とする。

事務局から協議事項等はあるか。

【嘉鳥G長】

協議事項等はない。

【西田節夫委員】

11月21日に地域協議会会長会議があったが、その報告はないのか。

【平井達夫会長】

地域協議会会長会議については、後ほど報告する。

【西田節夫委員】

板倉区は台風21号の被害件数が最多で、170件であった。被害状況について事務局に資料の提出を求める。

【山崎次長】

災害については現在、順次復旧中であり、12月末まで公共災害として災害査定等に取り組んでいるところである。

件数等については、現在資料が手元にないのでお答えできない。災害査定が終了し、確定した段階で、地域協議会に報告したい。

【西田節夫委員】

報告は被害件数などが確定してからでよい。

【山崎次長】

それでは、次回の地域協議会で説明する。

【平井達夫会長】

次に5その他とする。事務局から報告等はないか。

【嘉島G長】

- ・平成30年上越市新年祝賀会について事前送付資料により説明
- ・10月20日に実施した地域協議会視察研修について当日配布資料により説明
- ・その他配布資料についての説明

【平井達夫会長】

11月21日に上越文化会館で開催された地域協議会会長会議に板倉区から私と五十嵐所長が参加したので、概要について説明する。

参加者は地域協議会会長28名、土橋副市長、関係部課長、総合事務所所長、その他関係課担当者であった。

議題は「平成30年度地域活動支援事業について」、「自主的審議の活性化に向けた意見交換」の2つであった。

議題「平成30年度地域活動支援事業について」では、来年度の地域活動支援事業について説明が予定されていたが、当日は準備が遅れ間に合わなかったため、同事業は29年度と同様の予算要求を行っており30年度に中止することはない、という説明のみで、その他の詳細については言及がなかった。

議題「自主的審議の活性化に向けた意見交換」では次のような説明があった。

- ・地域協議会は自主自立のまちづくりを役割とし、身近な地域の課題、問題を自ら解決するために議論する場である。

- ・自主的審議には、地域住民等との意見交換会を通じた課題の把握、審議のためのテーマの設定、審議のための議論が必要である。

- ・議論を踏まえた課題解決のプロセスとして、市長への意見書、地域活動支援事業、地域独自の取り組み、地域としての提案事業等が必要である。

その他、他区から自主的審議事項の現状と問題点について以下のとおり発言があった。

- ・大きなテーマは協議が行き詰まり、進まない。

- ・テーマの絞り込みをどのようにしたらよいか分からない。

- ・事務局との連携が必要である。

- ・創造行政研究所を活用し指導を受けるのも一つの方法である。

これらを総括すると、市で取り組むような大きな課題には地域協議会と事務局が一緒に課題を整理することが必要であるということであった。

私は板倉区の地域協議会長として、今回の会長会議の議題、内容、会議の進め方が腑に落ちないため、今後は十分に検討していただきたいと発言した。

また、議題「平成30年地域活動支援事業について」の詳細な説明がなかったことについては、地域活動支援事業は地域協議会の一つの大きな任務であり、上越市全体の説明を受け、板倉区の採択方針等を専門部会で近々議論する運びになっているので、議題に上げながら準備不足とはお粗末であると発言した。

#### 【西田節夫委員】

会長会議を傍聴したが、傍聴者は私と橋本市議の2名のみであった。会長から説明のあったとおりであり、地域活動支援事業については説明がなかった。

会議を録音してあるので、聞きたい委員にお貸しする。

#### 【平井達夫会長】

会議終了後、清里区、中郷区、牧区の地域協議会長から、板倉区を含めた4区の地域協議会委員全員で意見交換会を行いたいという提案が私にあった。返事は来年ということに回答した。

過去に、清里区と牧区の2区、大潟区と柿崎区、吉川区の3区、大島区と安塚区、浦川原区の3区が意見交換会を開催したとのことである。

また、第1回は共通したテーマを設けず、会場については4区の中心である板倉区

で開催してはどうか等の提案があった。

**【西田節夫委員】**

以前から徳永委員と、中郷区と板倉区で意見交換会を開催してはどうかと話をしていた。そのような話が出てきたからには実施すべきである。

今回提案のあった4区は似た悩みを持っており、特に中郷区と板倉区については、斎場の問題等で共通するものがある。中郷区の地域協議会は斎場について市に意見を上げている。一緒に解決できるよう、話し合いをするべきである。

**【古海誠一委員】**

目的がはっきりしているのであればやってもよいが、目的、テーマが分からない。

**【平井達夫会長】**

当初私もそのように発言したが、やはり1回目はフリートークで親交を深めてはどうかということであった。提案段階であるので、板倉として参加しない選択肢もある。

**【古海誠一委員】**

例えば、「4区の観光について」をテーマにして、4区で連携して観光について取り組み、観光客を呼ぶにはどうするかという内容であれば開催してもよい。ただ漠然と意見を出すだけの会合であれば必要性を感じられない。

**【北折佳司委員】**

板倉区、清里区、中郷区、牧区の4区でよいのか。

**【平井達夫会長】**

その4区での提案であった。

**【西田節夫委員】**

大潟区が最初に区同士の意見交換会を始めたが、第1回は顔合わせであったとのことである。皆さんがどういったことで悩んでいるかを聞きながらテーマを作ってゆけばよい。

**【小林良一副会長】**

4区のまちづくり振興会の会合では、その場で皆さんの意見を聞き、共通している事項について討議する形をとっている。

**【長藤豊委員】**



第1回は「各区が今までに審議してきた自主的審議事項について」をテーマにしてはどうか。

**【古川政繁委員】**

ある程度テーマを絞って開催するべきである。テーマについては会長同士で相談し、提案してはどうか。

**【平井達夫会長】**

テーマを絞って開催すべきという意見が多数である。

**【小林良一副会長】**

4区の地域協議会委員が全員参加するとなると50名以上になる。討議するにも意見を出しづらいことを留意していただきたい。

**【西田節夫委員】**

この場で意見はまとまらないので、3役と他区の地域協議会長で相談してはどうか。

**【平井達夫会長】**

ただ今の意見のとおりとしてよいか。

(「はい」の声あり)

それでは、4区の地域協議会での意見交換会を実施するという事で、テーマ等については後日提案させていただく。

**【長藤豊委員】**

先程、次回の地域協議会で災害に関して報告があるとのことであつたので、それに合わせて、報告を求める。

この秋に、市道北ノ山線の修復をしていただいたが、その内の1箇所の下に水道管が通っており、単に管の上にアスファルトを乗せ平らにしただけの工事に見える。

板倉町時代の水道課に勤務していた栗沢の町内会長が、工事はその程度で十分と言っていたが、私は気になっているので説明してほしい。

**【山崎次長】**

清里区の南部営業所に確認をとることとする。

**【平井達夫会長】**

その他質問・意見等があれば挙手を求める。

ないようなので、5その他は以上とする。

- ・ 次回の地域協議会の日程は事務局が調整、後日委員に連絡
  - ・ 会議録の確認は、島田正美委員
- 以上で閉会とする。

【小林良一副会長】

- ・ 挨拶

9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141（内線 123）

E-mail : [itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。